

平成6年6月



今 学校教育は

広島市教育センター所長 高田和彦

入学式の緊張から解放され、体育館の横の桜の木のまわりに集う児童と保護者の動きは華やいでいた。これから記念写真を撮るところであろう。

この子どもたちが小学校を卒業する年は既に21世紀となっている。

国際化・情報化の進む社会の激しい動きの中にあつて、教育界も今大改革期に入っている。ここ数年来の教育改革の波は日本の教育史に残る大きなものであり、これは単に新学習指導要領の実施や学校週五日制の導入等に見られる制度面の変革期というだけでなく、学校教育の質的転換をも求められる厳しさを伴った波とも言われている。

幼児児童生徒の人間としての調和のとれた人格形成を目指すという観点に立って教育課程審議会は、

- (1) 豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成を図ること
- (2) 自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を重視すること
- (3) 国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育の充実を図ること

(4) 国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視すること

の4点をあげて各教科の内容の改善を求めている。ここに「平成の教育改革」が始まったわけである。これからは、生涯学習体系への移行を視野に入れながら、新しい学力観に立った教育の展開が求められることとなる。

21世紀を生きる子どもたちが心豊かに充実した人生を送るために学校では何ができるのか、また、しなければならないのか。

学校に寄せられる保護者や市民の期待が大きいだけに、そこに注がれる目も厳しいものがあり、要求も高くなってきている。我々は常に信頼される教育者でなければならないし保護者が安心して子どもを預けられる教育活動を展開すべく絶えず研修を積み重ねなければならない。

シャッターチャンスを測りかねているカメラにおかまもなく動きを止めない子どもたちを見ながら、これからの学校生活が不登校やいじめとは無縁な楽しいものであってほしいと願うと共に、今の輝きをいつまでも失わせてはならないとつくづく感じたものである。

研究紹介

中学校における環境教育のカリキュラム開発

—社会科，理科，保健体育科，技術・家庭科を対象として—

広島市教育センター 共同研究グループ

地球的規模の環境問題や都市・生活型の公害問題は、世界各国共通の課題となっています。このような環境問題について正しい理解と認識を得させ、環境に配慮して生活する力を身に付けさせることは極めて重要であり、本研究はこの環境教育に取り組みました。

生徒が環境問題に関する情報を何から得ているか調査したところ（8校324名）、「テレビ・ラジオから」（193名）に続いて「学校の授業から」（168名）と答えた生徒が多く、授業が重要な役割を占めています。しかし、環境教育を進める上で、具体的な環境教育のカリキュラムがないことが課題になっており、試行錯誤の状態が進められています。

そこで、中学校における環境教育の実践に役立てるために、年間指導計画と教科間の連携を考慮した学習指導案を作成しました。ここではその一部を紹介します。

環境教育の視点を取り入れた年間指導計画

作成に当たっては各教科の目標・内容を達成するとともに環境教育の目標も達成できるように、各教科の目標・内容・活動・教材を環境教育の視点から見直していく方法を取っています。また、中学校では、教科担任制をとっているため、教科間の連携が図られにくい現状があり、連携という点を特に考慮しました。具体的には各教科の中で分散して扱われている環境教育にかかわる学習内容を示し、それが他教科と関連が図れるよう年間計画に位置付けてきました。図は、年間指導計画の構想を表しています。表は、年間指導計画の一部です。例えば、表の

「日本の中央部」の単位では、日本の諸地域の特色を学習する中で、環境汚染や自然破壊に視点を当てて学習活動を構成します。次に、判断力が培われるような発問を工夫し、どの教科のどの学年でいつ、関連のある学習がなされるのかを知り、その教科と連携を図ります。



図 年間指導計画の構想

教科間の連携を考慮した学習指導案

こうして作成した年間指導計画の中から、各教科で環境教育を進めていくわけですが、資源・エネルギーの大量消費によって引き起こされている「地球温暖化」にかかわる内容について4教科の学習指導案を作成しました。一つの事象を複数の教科で取り上げ、具体的な各教科の連携を明確にします。また、各教科の立場でその事象をとらえて指導することで、様々な見方・考え方を生徒に身に付けさせることができ一層の効果が望めます。

利用できる資料と発問を記入した学習指導案を広島市教育センター研究紀要第14号に示しています。これを参考にして、各校で、生徒の実態や地域性を考慮した環境教育が実践されることを願っています。

担当 主任指導主事 松田 了二

指導主事 福原 正明 松脇 守弥

表 社会科（地理的分野）における環境教育の年間指導計画例

月	単元名	学習内容	環境教育の視点	主な学習活動	主な発問	他教科との関連
12	日本の中央部	日本の諸地域の特色	産業の発達による環境汚染、都市・地域の開発に伴う環境の変化と自然破壊等の観点からも学習させる	日本の諸地域における生活の特色を世界の他の地域と比較し、関連していることをまとめる	・各地方の産業の特色や人々の生活の違いの理由は何か ・人々が生活をより良くするためにどのような努力をしてきたのか	理・1 物質の変化 理・3 運動とエネルギー 理・3 地球と人間 保休・2 環境と適応

聞いたことありますか 高等学校

○「総合学科」

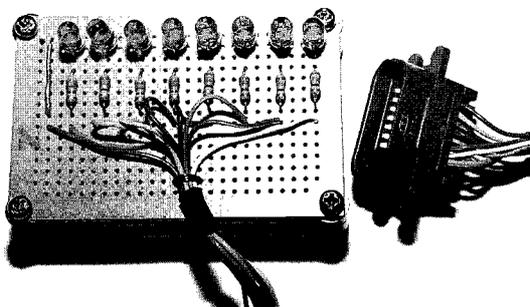
高等学校の学科制度が改正され、普通科と専門学科に加えて、総合学科が設置できることになりました。

総合学科は、普通科目・専門科目の双方を含んだ多種多様な科目の中から、生徒が自己の興味・関心に基づいて主体的に履修科目を選択するところに特色があります。将来の職業選択を視野に入れた進路への自覚を深めさせること、個性を生かした主体的な学習を通して学ぶことの楽しさや成就感を体験させることなどを重視した学科です。

生徒の適性、興味・関心、進路等の多様化に対応した高校教育改革のパイオニア的な役割が期待されています。

作ってみましょう 技術・家庭科

簡単なプログラムで発光ダイオード(LED)を点滅させる教具(LED制御盤)を製作しました。基本プログラムと点灯・消灯時間の命令や繰り返しなどの命令を組み合わせることにより、8個のLEDをそれぞれ独立して制御することができます。この教具は、作成したプログラムの結果をLEDの点滅により容易に確認できることが特徴です。



取り組んでいます 国語科

○「聞くこと・話すこと」の指導

小学校、中学校で「聞くこと・話すこと」への関心が高まり、創意に富んだ実践が積みまれています。

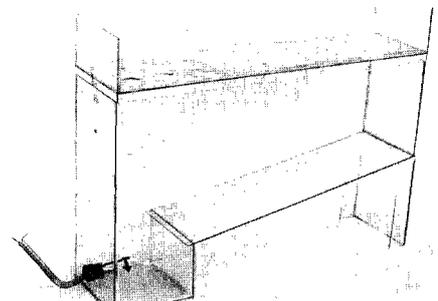
会話ー対話ー話合いーディベートースピーチという段階を経ながら、話すことを体験させる中で、パブリック・スピーキングの力を育てる実践です。

また、話し手の立場にたって、分かるようにしながら聞き、そのことを態度(まなざし、相づちなど)で話し手に伝える積極的傾聴法の涵養も取り組まれています。

思わず聴きたくくなるような話を聞く機会を多く持たせること、聞いて話す場をしくみ、滑らかに話すことより話そうとする姿勢を評価することがポイントでしょう。

工夫してみましょう 理科(小)

理科の学習では、実験・観察をすることが重視されます。児童が直接自然の事物・現象に働きかけることで、科学的な見方や考え方も養われます。その思考を補助するための教具を紹介します。写真の簡易モデル実験器は、第4学年理科「水のたび」の学習で自然界の水の状態変化や循環(海→雲→雨→川)をとらえやすくさせる教具です。このような教具を教師が工夫することにより、児童の思考に即した楽しい理科学習が期待できます。



製作者 広島市立己斐東小学校教諭 橋本賢一

話
題
の
広
場

-
-
-

-
-
-

研修を終えて

「自己評価力を」

広島市立鈴張小学校教諭

玉井 基宏



「自己教育力を育成する学習指導に関する研究」という題目で半年間、教員特別研修生として研修をしました。自己評価力は自己教育力を構成している重要な能力です。自己評価力を育成するためには、児童一人一人が、その学習活動の中で、十分に自己評価活動を経験できることが重要だと考えました。そのためには、学習過程そのものが自己評価を生かして進めていけるものでなくてはなりません。この考えを実証するための授業を計画し、実施したことが、私の主な研究内容です。

研究内容もですが、素晴らしい先生方との出会いに恵まれ、現在の学校での仕事につながってきています。研修のチャンスを与えてくださったことに、心より感謝しています。

研修を終えて

「グループ・カウンセリング」

広島市立亀崎中学校教諭

高島 優



私は、教育研究生として3か月間、教育相談に関する研究をしました。研究題目は、「自発的な活動を促進させる教育相談の在り方―一部活動におけるグループ・カウンセリングの実践を通して―」です。現在、部活動中に生じる人間関係をめぐる問題によって活動意欲を失ったり、退部したりする生徒が少しずつ増えています。そこで、生徒同士や教師との相互理解を図ることで、活動意欲を高めることができなかと考えました。数回のグループ・カウンセリングを実施する中で、部活動における人間関係が少しずつ改善されてきました。今後も、この実践を学級活動や教科指導にも生かしていきたいと考えています。指導して下さった先生方に感謝しています。

平成6年度 研修講座 始まる

本年度は次のようなことを考慮して、124の研修講座を設けています。

- 講座内容の焦点化
各教科の学習指導の講座では、新しい学力観に基づく指導と評価をどのように行っていけばよいかを探る予定です。
- 基礎講座の新設
学級経営基礎講座と学習指導基礎講座を新設しました。学級経営や学習指導の基礎的な事項、具体的な方法・進め方について研修できます。
- コンピュータ講座の充実
基礎と応用の講座を増やしました。
 - ・コンピュータ講座（基礎3班）
 - ・コンピュータ講座（応用Ⅳ）

平成6年度 教育研究発表会のご案内

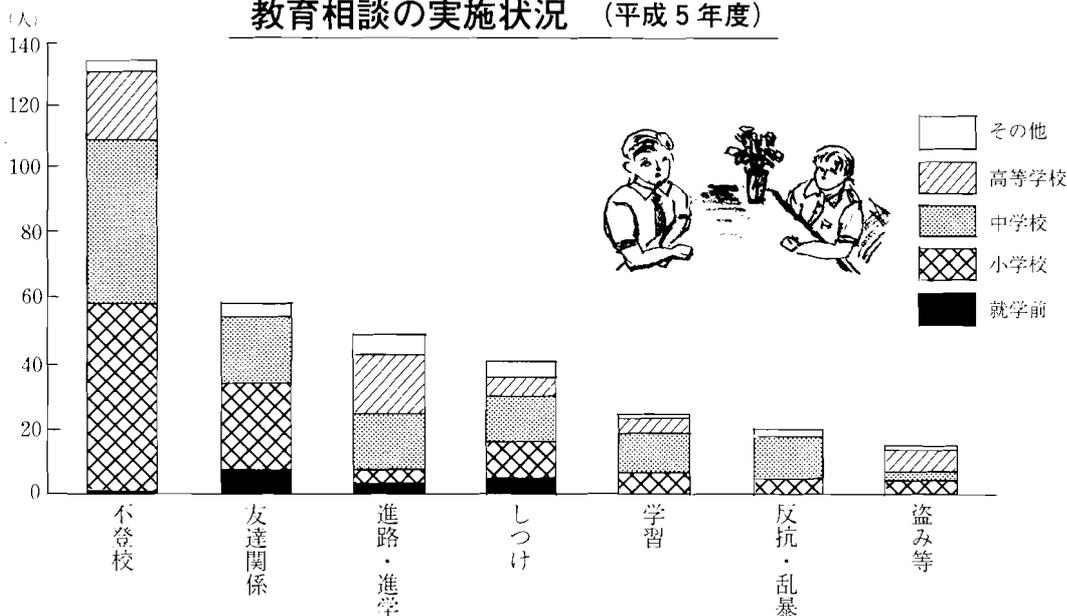
教育センターにおける教育研究の成果を学校の研究や実践に役立てていただくために、教育研究発表会を本年度より開催することとしました。ぜひ、お出かけください。

- ・日時 平成6年9月5日(月) 14:30~16:45
- ・場所 広島市教育センター
- ・内容
 - ・中学校における環境教育のカリキュラム開発
 - ・小学校社会科における資料活用能力を育てる学習指導
 - ・小学校音楽科における即興的な表現の指導法
- ・指導助言

広島大学助教授	小原友行
広島文教女子大学教授	下西茂樹
広島大学助教授	野村幸治

○ 教育相談室から ○

教育相談の実施状況 (平成5年度)



○ 不登校の相談が、小学校や中学校を中心にして多い状況です。また、5、6月に不登校の相談が増える傾向がありますので、入学時や進級時、また転校時の子どもの様子について日ごろから気を付けておくことが大切です。

【不登校の子どもへの家庭訪問のポイント】

不登校の状態の子どもやその保護者に対して家庭訪問を行う際は、次のようなことに留意する必要があります。

〔子どもへは〕

- 子どもの興味・関心のあることを話題にする
登校させようという意識が教師に強すぎると、子どもはますます心を閉ざしてしまいます。信頼関係づくりのために、一緒に遊ぶ気持ちでかかわることです。
- 子どもに会えないときは、無理に会おうとしない
教師が家庭に来ることは、子どもにプレッシャーを与えることにもなります。子どもに会えない場合は、保護者とだけでも話をします。
- 訪問時間は長くないようにする
家庭訪問の時間は長ければ良いというものでもありません。子どもの負担にならないように、時間に配慮することも大切です。

〔保護者へは〕

- 保護者の気持ちをよく聴く
保護者の不安な気持ちや、あせる気持ちなどについてよく聴きます。そのためにも、教師がしゃべりすぎないように気を付けます。
- 子どもの好転しているところを具体的に示す
不登校の状態になると、子どものマイナス点ばかりが気になります。子どものちょっとした変化をとらえて、プラス点を言葉で具体的に保護者に伝えます。
- 共に考えていこうとする姿勢をもつ
教師が指示を出すのではなく、「一緒に考えていきましょう」という誠意ある姿勢をもつことです。

以上のことを基本に、子どもの状態に応じてかかわるといふ柔軟な姿勢が必要です。

教育センターひろば

職員紹介

部	事業等	職	氏名	担当業務
第一 部	管理	所長	高田 和彦	所務総括
		次長	福原 敏治郎	所務管理・執行
	主任	主任(中)	岡本 和之	部内総括、予算、決算
		主事	小笠原 紀美子	公印、給付、文書処理、経理等
	主任	主任	中村 朋晴	施設設備の維持・管理、経理等
		主任指導主事	松田 了二	部内総括、生徒指導、教育相談
	主任	指導主事	宮脇 いち子	幼稚園教育
		指導主事	木村 正信	生活科、特別活動、社会教育
	主任	指導主事	三原 裕隆	生徒指導、教育相談
		指導主事	中尾 秀行	障害児教育、教育相談
主任	教育相談員	前田 典生	教育相談	
	教育相談員	室中 弘道	教育相談	
主任	教育相談員	渡邊 了夫	教育相談	
	主任指導主事	井崎 明	部内総括、音楽科	
第二 部	主任	指導主事	福原 正明	図画工作科、美術科
		指導主事	神津 住男	教育工学、視聴覚教育
	主任	指導主事	吉竹 那昭	社会科、道徳
		指導主事	尾形 慎治	算数科、数学科
主任	研修指導員	寄重 弘光	教育工学、視聴覚教育	
	図書資料室嘱託	大下 千賀子	図書資料関係事務	
第三 部	主任	主任指導主事	財津 伸子	部内総括、国語科、企画
		指導主事	江田 英俊	家庭科、技術・家庭科
	主任	指導主事	越智 文嗣	理科、同和教育
		指導主事	松脇 守弥	外国語(英語)科
	主任	指導主事	松浦 俊雄	理科
		研修指導員	河野 禮	理科
主任	研修指導員	伊藤 俊文	家庭科、技術・家庭科	



題字 広島市立国泰寺中学校校長 松陰 正行
表紙絵 広島市立中野東小学校校長 六島 宏

教員特別研修生

(平成6年4月～9月)

今年度前期は次の6名の先生方が、それぞれの専門分野で研修を進めておられます。

- 国語科教育：高橋 朗教諭 (中野小)
- 家庭科教育：須崎 恵子教諭 (五日市観音小)
- 特別活動：今井 邦夫教諭 (美鈴が丘小)
- 英語科教育：神田 良子教諭 (可部中)
- 障害児教育：笠崎 修聖教諭 (東原中)
- 幼稚園教育：山野井敏子教諭 (上温品幼)

教員特別研修母体員

(平成6年4月～平成7年3月)

- 校内研修：川本 正行教諭 (原南小)
- 校内研修：西崎 信一教諭 (高取北中)

職員の見聞

*離任 ー在任中はお世話になりましたー

- 小西 清彦所長 (広島養護学校へ)
- 正坊地武生指導主事 (高南小へ)
- 沖増 正和指導主事 (幟町中へ)
- 保本 早苗主事 (婦人教育会館へ)
- 杉山 武郎研修指導員 (退職)

*就任 ーどうぞよろしくー

- 高田 和彦所長 (市教委指導課から)
- 神津 住男指導主事 (観音中から)
- 尾形 慎治指導主事 (神崎小から)
- 小笠原紀美子主事 (中福祉事務所から)
- 伊藤 俊文研修指導員 (城南中学校から)

編集後記

暑くなりました。今年度は、紙面を大きくしたり、新しい内容を加えたりなどして編集してみました。ご感想、ご意見などお聞かせください。